

街頭犯罪対策

街頭では犯罪者が、あなたの油断やスキをうかがっています。一人ひとりがセルフディフェンス（自己防衛）の意識をもつとともに、地域住民が手を取り合って、街頭犯罪の起こりにくいまちづくりに取り組みましょう。

ひったくりー女性・高齢者が狙われる

自転車やバイクで後方から接近し、追い越しざまにバッグを強奪するひったくり。女性や高齢者の被害が圧倒的に多いのが特徴です。同一グループによる犯行が繰り返されるケースも目立ちます。



ひったくり対策

- バッグは車道と反対側（建物側）に持つ
- 人通りの少ない道は避ける
- 自転車のかごにバッグを入れる場合は、防犯ネットを取り付けるなど工夫をする

途中狙いー現金を引き出した後は要注意

複数犯による犯行が多く、一人があなたの注意をそらし、別の犯人が現金や財布を盗む手口です。銀行や郵便局、ATM（現金自動預払機）で現金をおろして帰る途中を狙います。さらには、現金を引き出しているときに後方であなたの入力する暗証番号を盗み見て、盗み取ったカードを使って現金を引き出してしまいます。



途中狙い対策

- 現金を引き出すときは、後方に不審者がいないか注意を払う
- 他人に声をかけられても、スキを見せない

スリ・置き引きー不注意は厳禁

飲食店などでバッグを置いたままトイレに立った、観光地で手荷物を置きっぱなしにして記念撮影に集中していた。スリや置き引きはこんなスキを見逃しません。気の緩みはスリ・置き引きに格好の機会を提供していることとなります。



スリ・置き引き対策

- 貴重品のしまい場所に注意する。リュックサックなどに貴重品を入れない
- 集団で行動するときも他人任せにしないで、貴重品は自分でしっかり管理する
- 飲食店では自分の目の届く範囲に貴重品を置く。貴重品を入れた上着をいすにかけない

スリ・置き引きー不注意は厳禁

「ちょっと買い物をするだけだから、鍵はそのままに……」「家から近いのでここに駐車……」「すぐに戻ってくるから貴重品は車の中でも……」

泥棒が狙うのはこうした一瞬の油断。愛車が盗難されたり、窓が割られて、カーナビや貴重品が奪われたりすることもあります。



自動車盗・車上狙い・部品狙い対策

- 鍵をつけたままにして、車から離れない
- 見通しがよく、明るく人目に付きやすい場所に駐車する
- 車内に貴重品を放置しない